

■事業者（令和6年2月29日現在）

◇場内事業者	卸売事業者	青果部	2社、	水産部	2社
	仲卸事業者	青果部	44社（野菜26社・果実18社）		
		水産部	44社（鮮魚34社・塩干10社）		
◇売買参加者	56人（近郊野菜）				
◇関連事業者	31社（場内運搬、飲食、物品販売店等）				

■取引状況（令和4年度）

◇取扱数量	青果物	18万7,326トン	（前年度：19万5,834トン）
	水産物	3万909トン	（前年度：3万5,855トン）
	合計	21万8,235トン	（前年比94.2%）
◇取扱金額	青果物	556億6,920万余円	（前年度：556億6,295万余円）
	水産物	341億6,964万余円	（前年度：329億6,885万余円）
	合計	898億3,884万余円	（前年比101.4%）

■経営成績（令和4年度）

市場事業収益	6億7,545万808円	（前年度：7億2,028万2,924円）
市場事業費用	6億1,345万4,325円	（前年度：6億8,851万2,761円）
純利益	6,199万6,483円	（前年度：3,177万163円）

■施設の維持補修の概況（令和4年度）

◇大阪府実施	電力量計取替工事外22件	請負金額計	64,165千円
◇指定管理者実施	青果棟屋上防水改修工事外230件		154,381千円
	・青果棟屋上防水改修工事		
	・水産仲卸B棟低圧共用幹線設備改修工事		
	・その他緊急修繕・計画修繕等		

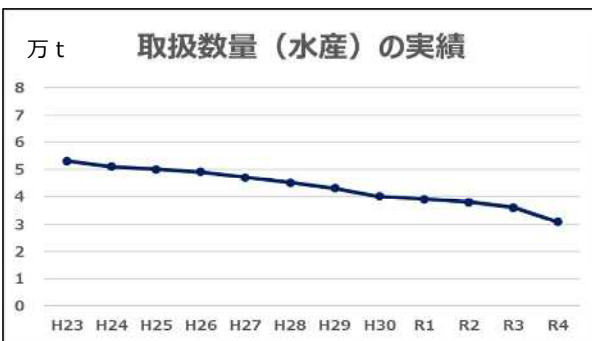
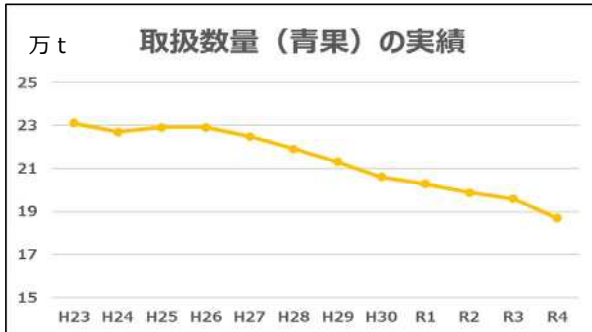
■主な行事等

- ・大阪府中央卸売市場開場45周年記念式典（R5.5.8）
- ・開場45周年記念市場開放デー（R5.11.12）
- ・指定管理者評価委員会（R5.7.25、R6.3.1）
- ・大阪府中央卸売市場再整備検討会議（検討会議、分科会、関連事業者説明会）

■府市場の取扱数量の推移

府市場の取扱数量は、全国の中央卸売市場と同様に人口減少や単身世帯の増加、卸売市場経由率の低下、直売・産地直送など取引形態の多様化などを背景として減少傾向にある。

また、府市場の取扱数量は、全国の65中央卸売市場で10番目となっている。



○全国中央卸売市場の取扱数量（2022年）【上位15市場】

順位	市場の名称	数量(トン)
1	東京都中央卸売市場・大田市場	967,058
2	大阪市中央卸売市場・本場	581,356
3	東京都中央卸売市場・豊洲市場	531,159
4	横浜市中央卸売市場・本場	365,445
5	名古屋市中央卸売市場・本場	335,795
6	福岡市中央卸売市場・青果市場	306,626
7	札幌市中央卸売市場	293,878
8	名古屋市中央卸売市場・北部市場	274,701
9	京都市中央卸売市場・第一市場	252,459
10	大阪府中央卸売市場	220,512
11	東京都中央卸売市場・淀橋市場	202,451
12	仙台市中央卸売市場・本場	201,452
13	大阪市中央卸売市場・東部市場	198,448
14	岐阜市中央卸売市場	183,836
15	鹿児島市中央卸売市場・青果市場	170,770

※食肉市場を除く

【参考】府市場の取扱金額の推移



○全国中央卸売市場の取扱金額（2022年）【上位15市場】

順位	市場の名称	金額(千円)
1	東京都中央卸売市場・豊洲市場	505,743,669
2	東京都中央卸売市場・大田市場	369,222,843
3	大阪市中央卸売市場・本場	257,310,781
4	名古屋市中央卸売市場・本場	163,941,475
5	札幌市中央卸売市場	152,416,467
6	横浜市中央卸売市場・本場	143,886,261
7	仙台市中央卸売市場・本場	111,216,415
8	京都市中央卸売市場・第一市場	97,749,126
9	名古屋市中央卸売市場・北部市場	91,532,916
10	大阪市中央卸売市場・東部市場	90,399,297
11	大阪府中央卸売市場	89,720,175
12	金沢市中央卸売市場	75,106,876
13	福岡市中央卸売市場・青果市場	70,825,795
14	広島市中央卸売市場・中央市場	64,542,190
15	神戸市中央卸売市場・本場	64,415,716

※食肉市場を除く